

# 技術職員研修WG

國分 修三

## 研修WG目的

大分大学（旦野原キャンパス）に勤務する教室系技術職員に対して、その職務遂行に必要な基本的、一般的知識と新たな専門的知識を修得させるとともに、大分大学の技術職員としての資質の向上を図ることを目的とする。

\*WG構成メンバー：新井，甲斐，國分，秦，田原，遠矢，御手洗，隅田（人事課）

## 連絡会および議題

平成22年5月12日

### ①平成22年度大分大学技術職員研修日程

- ・前年度は9/18に開催したが、学会等と重複しないよう検討する
- ・第一希望・9月17日、第二・9月10日

### ②研修形式

- ・前年と同様の形式で行う
- ・講義内容としては、教養科目を希望する
- ・工場見学の要望について調査、結果次第ではバスを予約する。
- ・見学先の希望について調査を行う（各自が学科単位で担当する・期限は5月中）

### ③アンケート調査結果の反映に関して

#### ④九州地区技術専門員研修

- ・九州地区技術専門員研修の当番校であるが、支援の必要性は？
- ・日程の調査を行い、技術職員研修との重複を避ける

#### ⑤技術報告の該当者について

- ・奨励研究に関する技術報告該当者：赤峰、原山
- ・研究会報告：H21年度機器分析技術研究会、H21年度実験実習技術研究会、技術研修報告、技術部調査、九州地区技術職員研修、スキルアップ研修報告等

平成22年6月9日

### ①平成22年度大分大学技術職員研修

- ・開催日は第一希望の9月17日とする
- ・研修形式は前年と同様の形式で行う
- ・講義内容としては、教養科目を希望する  
人事課からの提案で労働安全衛生について  
情報処理センターのシステム変更について
- ・現在、技術発表の募集を行っているが、応募者がいなければ、前年同様に各系へ依頼する

### ②報告が可能な技術報告等

- ・奨励研究に関する研究発表（赤峰、原山、奥林）  
H21年度機器・分析技術研究会（伊波）・H21年度実験実習技術研究会（西田）

技術研修報告（三浦）・技術部調査（三浦・長崎大学）

③講義の項目として

- ・ 学術情報リポジトリの説明（図書館・若林氏）

④工場見学に関する調査結果。

- ・ リサイクル会社の大山商事が提案されたが、見学対象を考慮して工場見学は見送る

⑤九州地区技術専門員研修について

- ・ 人事課の意向として、技術部が主となって企画・運営を希望しており、WGのこれまでの活動状況を考慮すると対応できると判断する
- ・ 日程は平成22年12月9日（木）～12月10日（金）の2日
- ・ 研修の実施についてWGで取り組むことを了承

平成22年7月7日

①講義（Ⅰ～Ⅲ）の概要

講義Ⅰ：職場の労働安全などに関わる内容（講師：人事課で調整）

講義Ⅱ：図書館におけるリポジトリについて（講師：図書館・若林氏）

講義Ⅲ：情報処理センターのシステムについて（講師：情報処理センター・矢田氏）

②技術発表・報告に関して

- ・ 技術発表については募集を行ったが、応募がないため各系に推薦者を依頼した。現在、情報系・秦氏、機械・エネルギー系・御手洗氏の報告が挙がっている。
- ・ 平成22年度大分大学SD推進事業報告（國分）
- ・ 九州地区技術職員スキルアップ研修A（未定）

③研修当日のプログラムについて

- ・ 研修会場の予約はできている（工学部109号室）
- ・ 発表担当者に発表時間（発表：12分、討論：3分）の周知を徹底する  
発表要旨の提出についても同様とする
- ・ 研修ノート作成に関わることは國分と人事課が担当する
- ・ 交流会は学外の会場を準備する、担当は御手洗氏で了解された

④研修に関する医学部への周知について

- ・ 人事課が今年度も医学部への周知を行う

平成22年9月8日

①平成22年度大分大学技術職員研修

- ・ 前回WGにおける課題について  
開校式の挨拶に事務局長が行うことで調整（人事課）。  
施設見学について見送りとしたが、希望があれば別日程で対応する  
交流会は学外の会場で開催することがすでに周知されている
- ・ 講義Ⅱの講師が、若林氏の転任により、後任の佐藤氏に交代した

②他学部等からの参加申込について

- ・ 工学部以外では、医学部（2名）、高専（1名）の申込がきている

③技術発表・報告に関して

- ・スキルアップ研修Aの報告は伊波・梅田・松原・北村・原慎の各氏が担当する
- ・発表の要旨提出状況について

④研修の役割分担について

- ・出欠確認（ 秦 ）
- ・司会（ 午前：國分、午後：甲斐・遠矢 ）
- ・会場係（ 田原、御手洗）
- ・研修ノート作成（印刷）は人事課が担当
- ・会場設営は16日、109号教室・16：00集合
- ・交流会会場 華しずく（大分市中央町）
- ・事務局インターンシップの学生2名が受付と会場撮影を担当する

⑤平成22年度九州地区技術専門員研修について

期日：12月9日（木）～10日（金）

講義Ⅰ：講師・学長（教育・研究における技術職員の関わり）

：講師・財務理事（国立大学がおかれている財政状況とこれからについて）

講義Ⅱ：学外から（職場の安全・衛生について）

講義Ⅲ：講師・榎園（電気）講演と施設見学を含める

討議 参加者に各大学・高専における技術職員組織の概要と活動状況についてプレゼンを行う  
その後、個別の質問を含めた全体討論を行う。

施設見学 医学部

平成22年10月27日

①平成22年度技術職員研修（総括）

- ・日程（研修開催日）について  
九州地区技術専門職員研修およびスキルアップ研修とのかね合いもあり、次年度も今年同様の期間に開催日を設ける
- ・研修の構成  
前年同様1日の日程で、前半を講義の時間にしたが、維持するかどうか  
構成は講義と発表を合わせた形式で行う  
発表者の希望に応じて発表時間を設定する必要がある  
発表件数を減らすことも考慮する  
講義についてはタイムリーな内容を希望する
- ・技術発表・報告に関して  
技術発表の公募を行ったが、応募が無く各系に依頼した。技術報告については全員が関わることなので順番でも可能であるが、発表者の確保が課題となる  
技術発表の公募は引き続き行う（発表を希望する場合もある）
- ・医学部の教室系技術職員との合同研修について、今回参加した医学部職員の意見として医学部には大分大学技術職員研修として、強い要請がないと出席が難しい職員もいる
- ・これからもできれば出席したい
- ・人事課長の意見として、高専への案内は費用の面からも考慮する必要があるが、次年度も高専

に通知は行う

- ・研修の各役割分担者から  
会場をVBL講義室にして、進行係・会場係が動きやすいようにする  
(日程を早めに決める)
  - ・交流会  
学外の会場が適しているため、次年度も同様にする
- ②九州地区技術専門員研修について
- ・概要が整い、各機関に通知を行ったところである

平成23年3月28日

- ①平成23年度大分大学技術職員研修に向けて
- ・日程および研修の構成について
  - ・前年度同様の9月を目安にする
  - ・2011 機器・分析技術研究会(信州大学)が9月8,9日で開催予定
- ②技術発表・報告に関して
- ・次年度も技術発表は公募するが、なければ各系に推薦を依頼する(各系:1名)
  - ・任意な発表時間にするために、時間の調整を検討する(交代時間も必要)
  - ・会場を教室からVBLセミナー室への変更
- ③他学部との連携
- ・医学部教室系技術職員との合同研修についてはハードルが大きいですが、合同研修の開催に向けて医学部の状況を見る(医学部内の合意形成・技術部組織の整備)
- ④交流会
- ・昨年度も例年どおりの出席者数になり、今年度も学外でおこなう

## 平成22年度大分大学技術職員研修実施要項

- 1 名称 平成22年度大分大学技術職員研修
- 2 目的 この研修は、大分大学（挾間キャンパスに勤務する者は希望者のみ）に勤務する教室系技術職員に対して、その職務遂行に必要な基本的、一般的知識と新たな専門的知識を修得させるとともに、大分大学の技術職員としての資質の向上を図ることを目的とする。
- 3 対象者 教室系技術職員（挾間キャンパスに勤務する者は希望者のみ）  
※ 非常勤職員，再雇用職員は自由参加とする。
- 4 期間 平成22年9月17日（金）
- 5 会場 工学部109号教室
- 6 研修日程 別紙「研修日程表」のとおり
- 7 研修方法 講義，研究発表
- 8 修了証書の交付及び人事記録への記載  
研修を修了した者には，所定の修了証書を交付し，人事記録に記載するものとする。
- 9 研修経費 この研修に要する経費は，「全学共通経費（法人維持経費）－研修等実施経費」から支出する。

## 平成22年度九州地区国立大学法人等技術職員スキルアップ研修実施要項

- 1 趣旨 この要項は，九州地区国立大学法人等技術職員研修実施要項に基づき，九州地区国立大学法人等技術職員スキルアップ研修の実施に関し必要な事項を定める。
- 2 名称 平成22年度九州地区国立大学法人等技術職員スキルアップ研修
- 3 目的 この研修は，九州地区における国立大学法人等の教室系の技術職員（以下「技術職員という。」）に対して，その職務遂行に必要な技術的資質の向上を図ることを目的とする。
- 4 主催 国立大学法人琉球大学及び社団法人国立大学協会九州地区支部
- 5 期間 平成22年9月8日（水）～ 9月10日（金）
- 6 受講者 九州地区国立大学法人等の技術職員で，かつ，勤務成績が優秀な者で当該機関から推薦され，琉球大学が認めた者とする。
- 7 受講者数 次の各分野10名程度，合計30名程度とする。  
機械、電気・電子、情報処理（各機関別の受講者数は，別に定める。）
- 8 研修内容及び日程 別紙日程表によるものとする。
- 9 会場 国立大学法人琉球大学
- 10 修了証書の交付 研修を修了した者には，所定の修了証書を交付する。
- 11 研修経費 この研修に要する経費は，社団法人国立大学協会九州地区支部研修経費の負担とする。但し，限度額を超えた場合はその超えた額について各機関別の受講者数に応じて按分し，各機関の負担とする。  
また，受講者の旅費（滞在費及び交通費等）は，受講者の所属する機関の負担と

する。

その他 この要項に定めるもののほか、研修の実施に関して必要な事項は、九州地区国立大学法人等と協議の上、定めるものとする。

### 平成22年度九州地区国立大学法人等技術専門員研修実施要領

1. 名称 平成22年度九州地区国立大学法人等技術専門員研修
2. 目的 九州地区における国立大学法人及び独立行政法人国立高等専門学校機構（以下「国立大学法人等」という。）の教室系の技術専門員相当の職にある者に対して、その職務遂行に必要な管理職員の識見の醸成を深めさせ、その職務に必要な専門的知識及び技術を修得させると共に、技術の継承及び保存等に関し、指導的役割を果たせるよう、その資質の向上を図ることを目的とする。
3. 主催 社団法人国立大学協会九州地区支部及び国立大学法人大分大学
4. 受講者 九州地区国立大学法人等の技術専門員相当の職にある者で、かつ、勤務成績が優秀な者で所属機関から推薦され、大分大学が認めた者
5. 受講者 10～20名程度
6. 期間 平成22年12月9日（木）～12月10日（金）
7. 研修内容及び日程 別紙日程表のとおり
8. 会場 大分大学（大分大学旦野原キャンパス：大分市大字旦野原700番地）
9. 修了証書の交付 研修を修了した者には、所定の修了証書を交付する。
10. 経費 この研修に要する経費は、社団法人国立大学協会九州地区支部研修経費の負担とする。ただし、限度額を超えた場合は、その超えた額について各機関別の受講者数に応じて按分し、各機関の負担とする。また、受講者の旅費（滞在費及び交通費等）は、受講者の所属する機関の負担とする。